

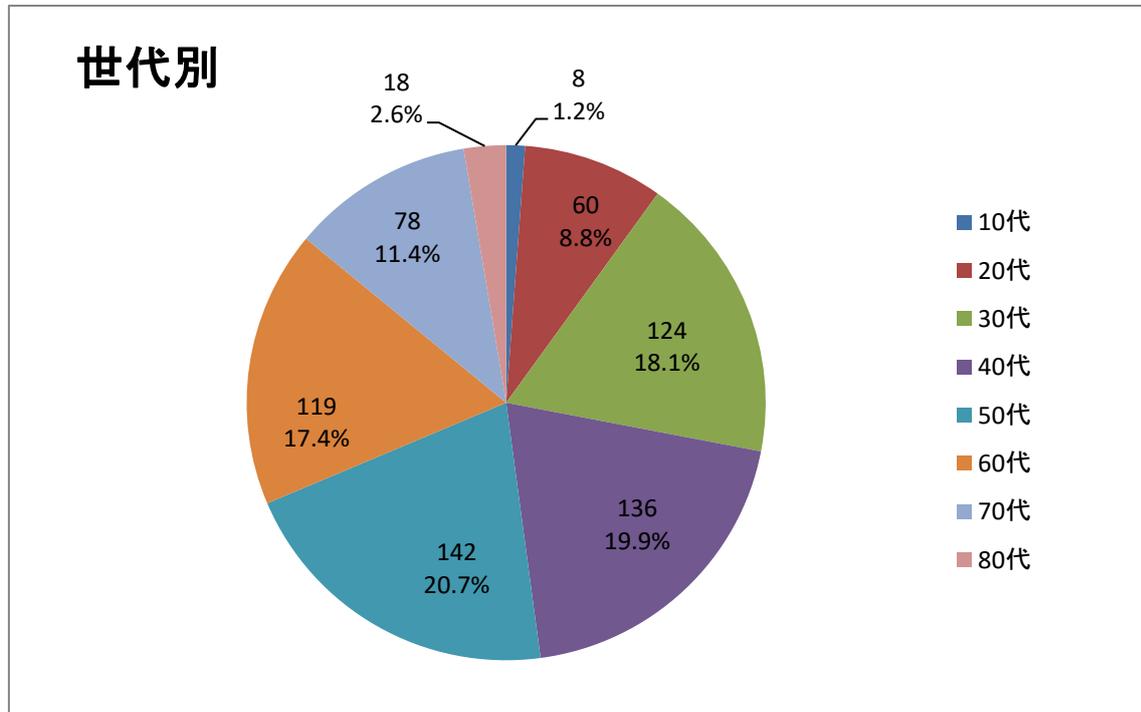
# 第4回eモニターアンケート 「SDGsに関するイベントについて」

実施期間  
回答数

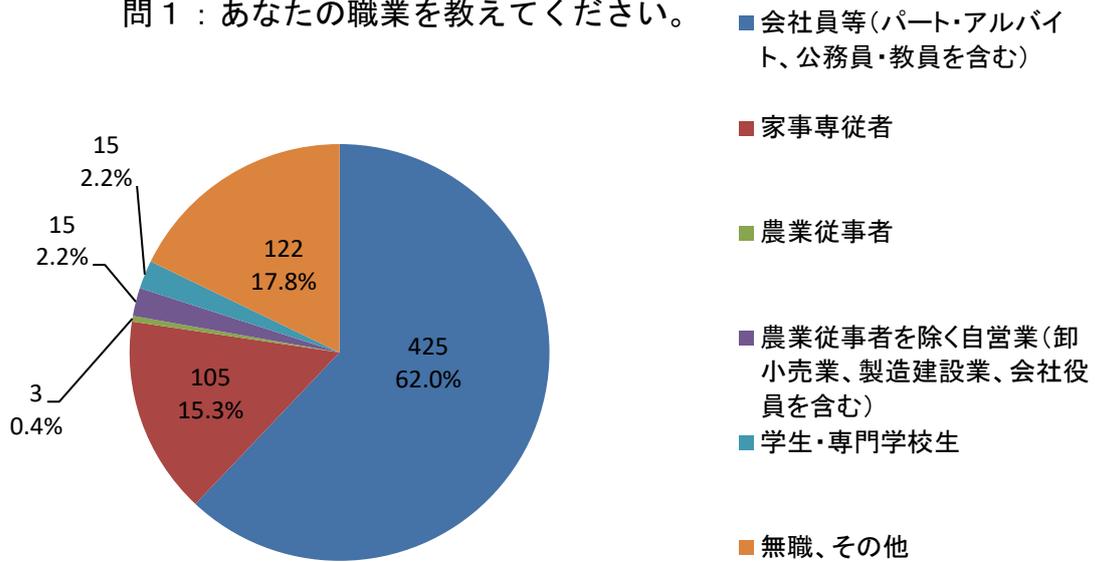
令和5年8月8日 ~  
685 人

令和5年8月15日

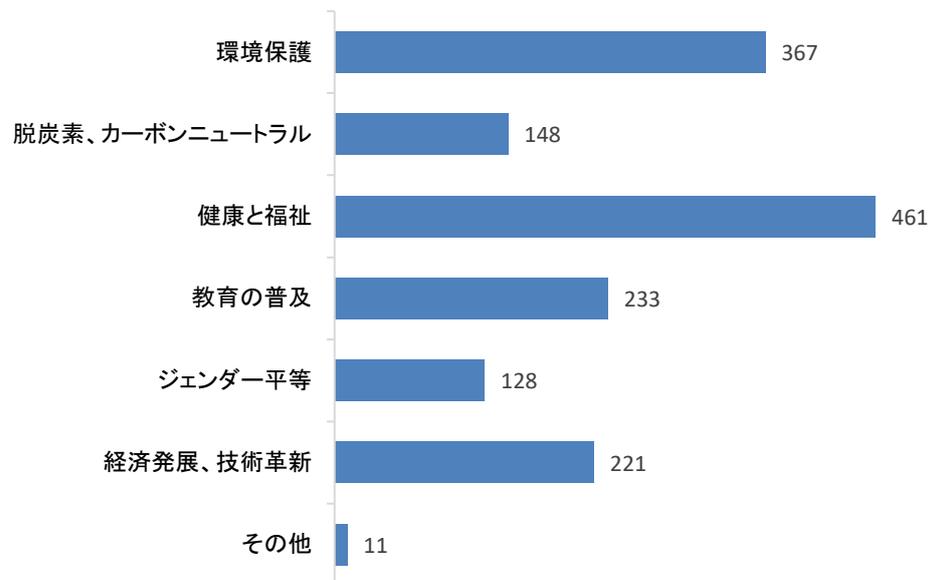
※単位は全て、円グラフは人（割合）、棒グラフは人



問1：あなたの職業を教えてください。



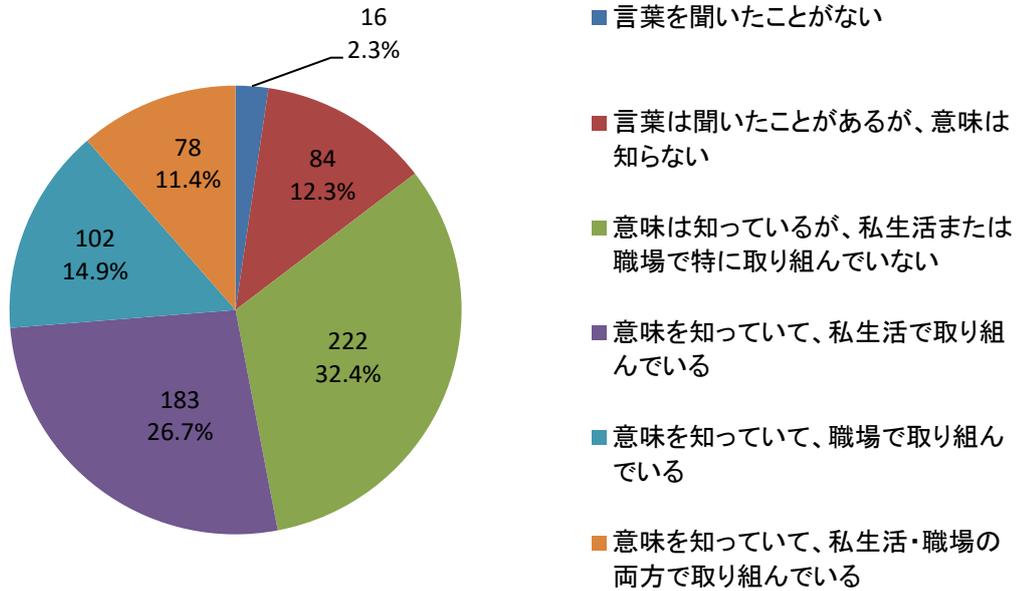
問2：以下の中であなたが興味、関心を持っているテーマについてお答えください。(複数回答)



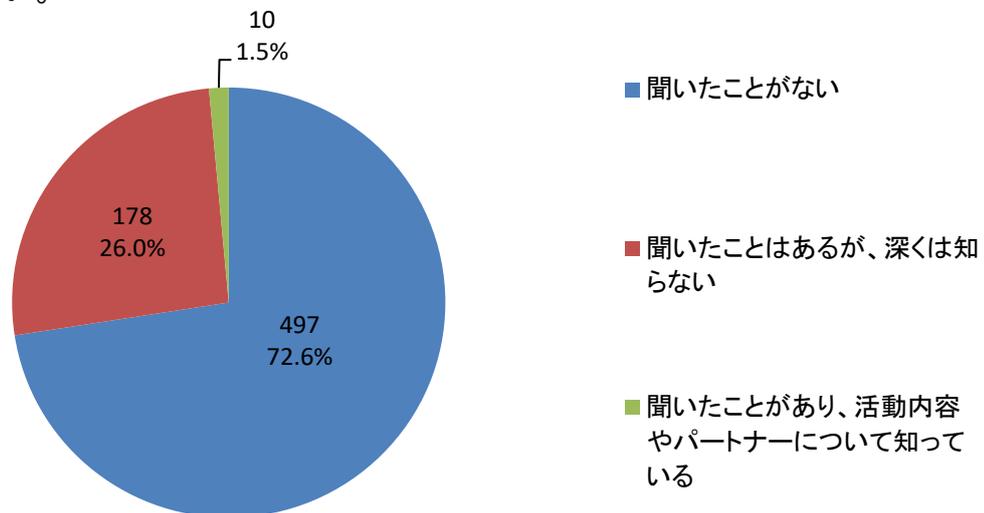
【主なその他の意見】

- ・食と農業
- ・廃棄食料
- ・行政改革
- ・健幸都市の実現
- ・宇宙・惑星探査

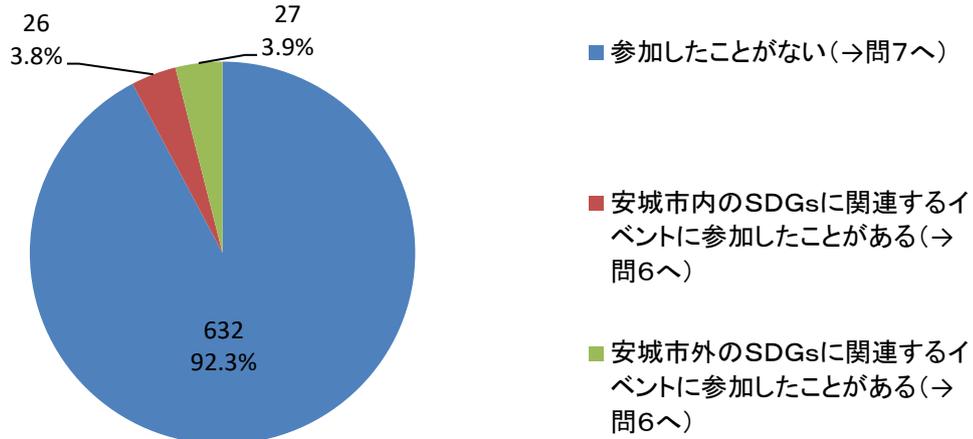
問3：SDGsという言葉についてお答えください。



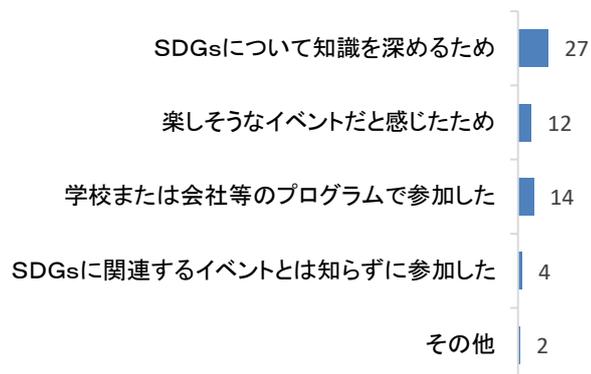
問4：「あんじょうSDGs共創パートナー制度」についてお答えください。



問5：SDGsに関連するイベントへの参加経験についてお答えください。



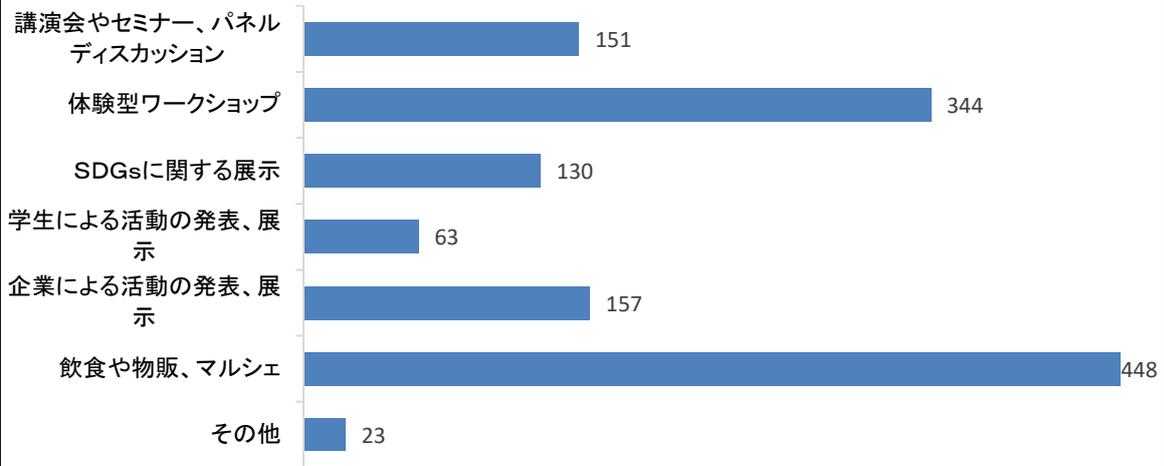
問6：過去に参加されたSDGsに関連するイベントの参加理由についてお答えください。(複数回答)



**【その他の意見】**

- ・好きなタレントが出ていたイベントであったため
- ・新聞やテレビで報道され知っていたことを体験する機会が身近であったから

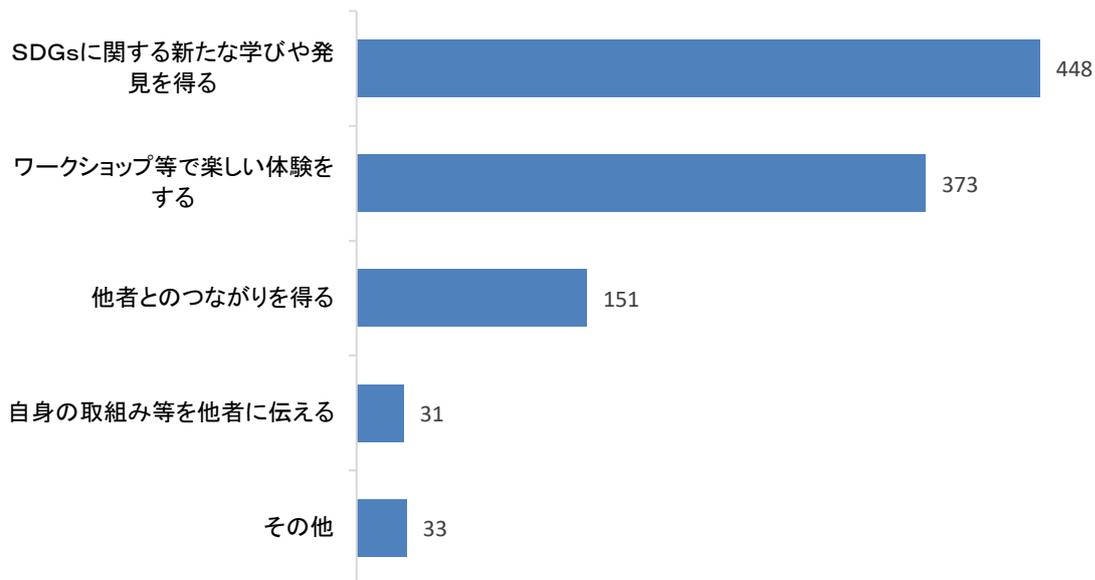
問7:SDGsをテーマとしたイベントにどのようなコンテンツがあれば参加したいかお答えください。(複数回答)



【主なその他の意見】

- ・廃棄前食材をフリーマーケットのように売り出したり、不用品を持ち込むと特典がつくような取り組みをしてはどうか？
- ・安城市に所縁のあるタレントの起用
- ・子供と楽しく学べる内容
- ・こどもから老人が参加できるイベント
- ・オンラインで参加できると気軽によい

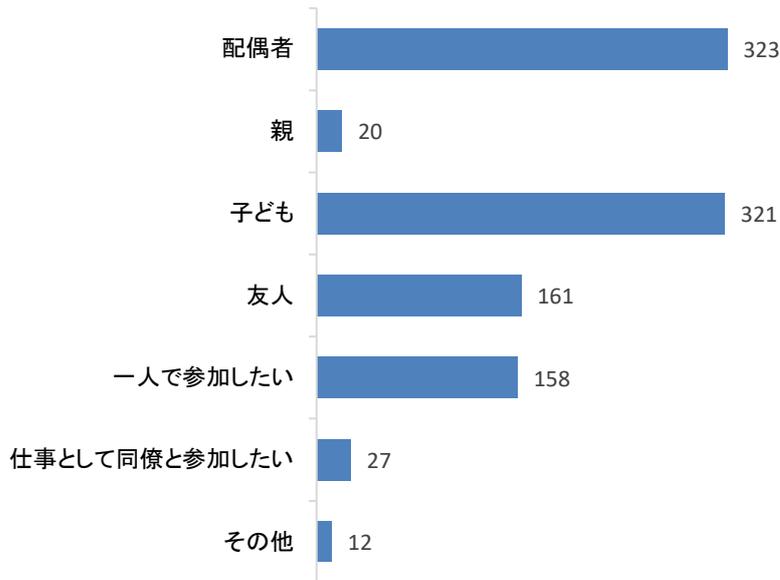
問8:SDGsをテーマとしたイベントに対してどのようなことを期待しますか。(複数回答)



【主なその他の意見】

- ・家庭でストレスなく取り組める内容
- ・高齢者への意識の向上
- ・飲食イベント
- ・地域や自分の生活に取り入れた時の効果を見える化

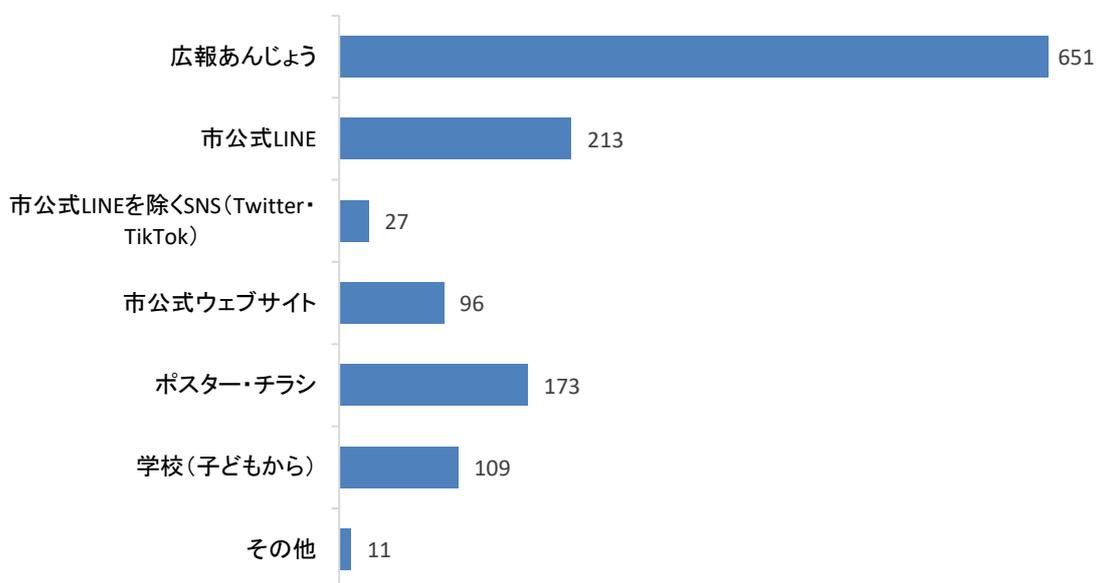
問9:SDGsをテーマとしたイベントがあれば、誰と参加したいですか。(複数回答)



【その他の意見】

- ・孫
- ・パートナー

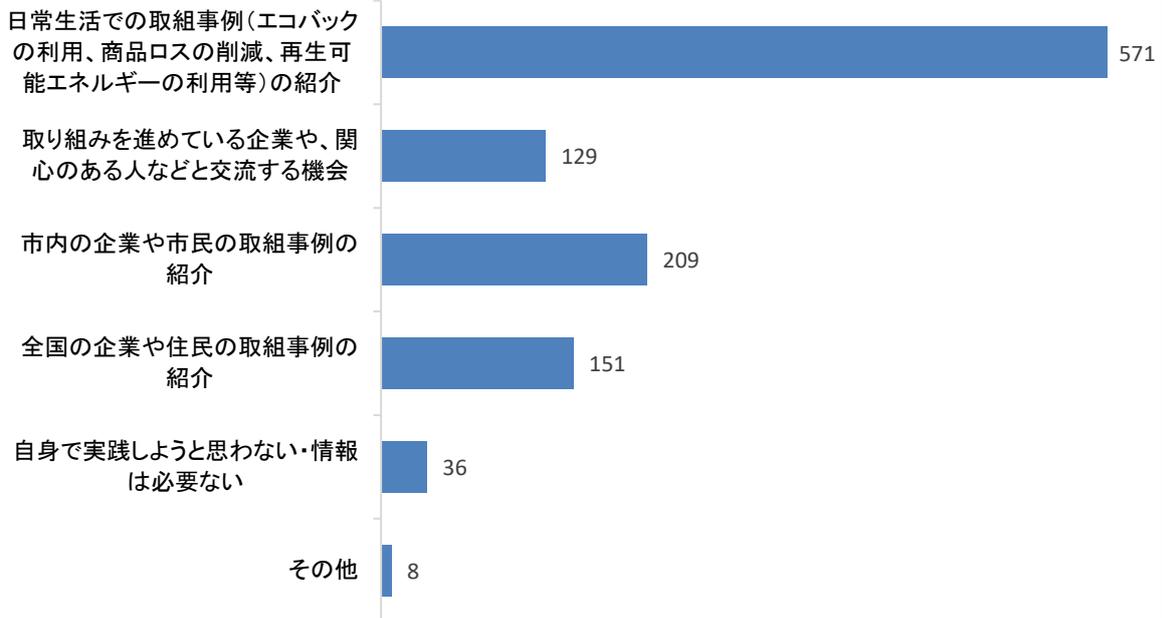
問10:市内のイベント情報を入手する方法を教えてください。(複数回答)



【その他の意見】

- ・妻から
- ・親戚から
- ・新聞の地方版
- ・友人から
- ・町内会回覧板
- ・公民館情報

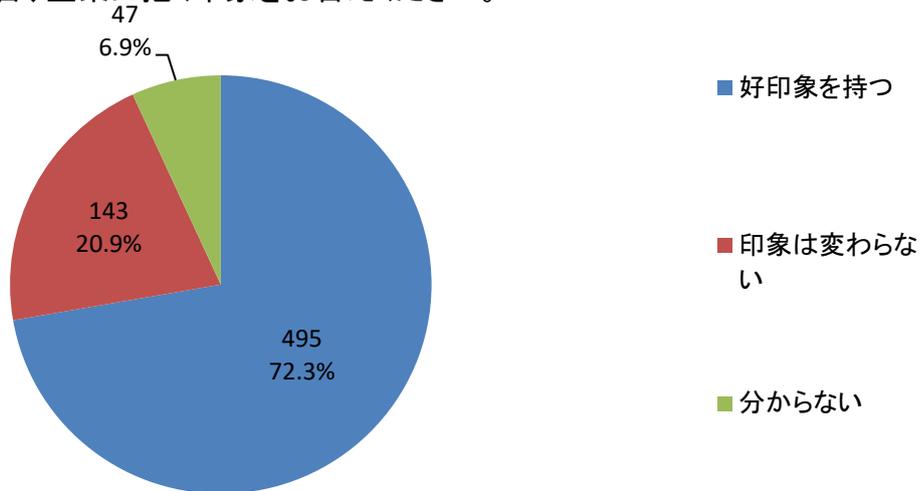
問11:SDGsに取り組みたいと思った時、どのような情報があれば実践してみようと思いますか。(複数回答)



【その他の意見】

- ・日本古来の生活=精神を見直してみる
- ・今やらなければいけない理由や、やるとよい理由を明確に教えてもらいたい
- ・自身に具体的なメリットのあること。時短、経済性など

問12:企業が積極的にSDGsに取り組んでいることが分かった場合、企業に抱く印象をお答えください。



問13：安城市のSDGs推進施策やイベント等について自由にご記入ください。
あんじょうSDGs共創パートナー制度は、よい制度だと思います。 今後、2030年に向けて、パートナーのマッチング状況、安城市との連携状況や目標に対する進捗状況を市のWEBで分かるとういと思います。
ひとりひとりの努力も大事ですが企業が努力していく事が大きな力になると思います。 SDGs共創パートナー制度はとてもいいです。
SDGsジュニアキャンプなど、子どもがあそびながら知識を得られるイベントは、子どもにとって楽しく学べるいい機会になると思った。楽しんで学べるイベントは、参加させたい、したいという気持ちになると思います。
あまり勉強色の濃いイベントではなく、子供が楽しい経験を通して自然に学べたり、買い物を通して学べるほうが、生活に取り込めそうな気がします。
イベントに参加して楽しんでいっているうちに身に付いてしまうような感じが理想だと思います。
親子で参加できたり、日常的に目にするような形で市民を巻き込みながら推進できたらと思います。子どもの方が学校で習ったり、教育番組でもSDGsのことをやっているの、知っていることが多いと思います。最近では、テレビ番組内でも取り上げることが増えたので、認知度は上がったのではと思います。大人に向けて、SDGsは自分たちにとって身近なものなんだということを知ってもらう取り組みをしていくと良いと思います。
主婦向け、こども向け、企業向けなどターゲットを絞ったイベントを期待してます。マルシェや体験型など楽しみながら学んでいきたいです。
会社内で民間企業によるワークショップに参加した。ゲームを通じてSDGs内の優先の取り方の難しさを学んだ。楽しく構成されており有意義だった。
まずはSDGsを市民全員に周知させるため、イベントを色々な場所でたくさんやる必要があると思います。これくらいなら自分でもできるな、と身近に感じてもらうことが大切。
もしこのようなイベントを今後もっと開催するのであれば、一人一人老若男女に広くSDGsを誰にでも分かりやすく浸透させるのが大事だろうと考えます。
子どもにわかりやすく、伝えることができ、それを行うとどうなるか、行わないとどうなるのかを伝えたい。話しても抜けてしまうので、もっと理解を深められる方法があるといい
講義形式で身近な話ではないものだとやる意味はあまりないと思う。 子どもでも理解出来る位、分かりやすいものもいい。エシカルの勉強は意外と身近な事が多く面白いと思う。
SDGsという言葉はテレビ等で聞かすが、意味をよく理解してないので、身近なところで体験できるイベントがあれば参加したい
個人的に家庭などで気軽にできることがあれば、取り組んでいきたいと思います
私個人的には、広報で、皆ですすぐ取り組めるけど、まだやってない人が多い実践例を載せて欲しいです。 これから、未来を作る子供達には、学校でも話を聞く等機会はあるようですが、社会科見学等の機会、体験などが出来るとより興味をもち、取り組めるのではないかと思います。
無意識に実際にやっけていてもSDGsという視点でみてみないとこの行動がこの項目に当てはまるんだという認識がないかなと思うので、SDGsの項目を身近な行動におとしこんだものを配ったりして意識できると職場や学校で知る機会のない方でもわかりやすいかなと思います。
自分自身は、あまり意識したことがない程度の取り組みしかしたことがなく、今後も大袈裟なことではできないと思うので、誰でもあまり構えず普段の生活の中で取り組める事柄の紹介が、今後必要だと思います。
新たに組み込む活動ではなく、現在取り組んでいる生活の中でSDGs活動になる要素などを紹介してほしい。
子供も大きくなり、大人だけでも参加しやすいイベントがあればと思います。
SDGs単体のイベントは少し敷居が高く参加しにくいので、マルシェ+参加型体験や企業展示などが盛り込まれたイベントがあったら参加してみたいです。
アンフォーレなどの施設にSDGsに関連したものをこどもから大人までわかりやすく説明して展示されていると良いと思います。 17のゴールを色別で大きく展示して、簡単なゲームなどできると関心が持てそうです。

健やかと幸せが実感できるケンサチなまち安城市＝SDGsというキャッチフレーズが解りやすくキャッチーで市民に浸透し易いので良いと思います。  
イベントに関しては、今までも著名な方をゲストに呼んでいたと思いますが、今後も引き続き色々な方のお話をお聞きしたいです。

参加した事はありませんが身近でやれる事を市民に伝えてくれる場所があったらぜひプラスして実践してみようと思える。  
広報でも特別ページみたいなのを設けて企業、グループからの紹介をしてくれるといいなあと思います。公民館などでイベントがあれば皆さん足を運ぶと思います。

17もあると全部を覚えきれませんが、基本的な考え方は分かるつもりです。  
それでも具体的にどうすればいいのか 何が効果的なのか知りたいと思うし、実践している人の話も聞きたいです。難しい点や失敗例なども参考になると思います。

やりたいと思えるような良い点、メリットがあるとより広まり、参加したいと思える。まずは、言葉はよく目にしますが、何か分かっていないので、知りたい。

誰でも知っていそうな環境やエネルギーの項目以外のSDGsへの理解を深めるイベントも実施した方が良いかと思えます。

見える化して、毎回広報に記載すると、市民も協力しようと思えます。  
他人事ではなく、自分も一員だと感じるような取り組み。

生活に密着してすぐに取り組みやすいもの、食べ物や雑貨などだと、すぐに取り入れやすい。  
値段が張るものや一旦持ち帰り検討要なものだと、そのままになってしまいそう。

参加者に過度の負担を強くない活動がよい。無理は長続きせず一過性のものになる。

有名人を呼んで、イベントを催すと、みんなの関心と呼べると思う。

駐車スペースがあって、行き来しやすい場所で開催してもらえたり、土日だけでなく、平日だったり幅広く開催してもらえたら、参加しやすいのでは？  
気にはなるけど、堅苦しいと足が重くなるなら、マルシェや地元野菜の即売会みたいなものと併用するなどするのいいのでは？

大手スーパーでは、不要な衣類を金券に交換出来るイベントを催している。  
また、出荷出来なかった野菜や、賞味期限が近くて店舗に置けなくなった食品を安値で販売しているお店もある。  
どちらも利用するが、もっと近場に利用出来る施設やイベントがあれば良いのにと日頃思っている。

食品の廃棄、店舗等で売れ残ったお弁当、お惣菜などかなりの量の廃棄があります。残飯だけが問題ではなくそのお弁当の容器も捨てることになります。お店も安く売れば利益もでないし、安売りだけが目立ってしまい定価で購入されなくなる。  
そういった廃棄されるかもしれないお弁当を施設とか、生活困窮者に安く提供できるようなシステムがあってもいいかなと思います。

SDGs推進施策として、人にやさしく住みやすい街づくりのためのアンケートとか目安箱のようなものの設置。

SDGsがあふれていて、反応が薄くなります。あやふやなSDGsという言葉を使わずに、内容、詳細を前面に出して行う方がいい場合もあると思います。

SDGsとよく見聞きするが、実際に意識して取り組んでいたり、新たな取り組みをしてみようとする人は身近ではまだ少ない気がする。言葉だけが先行している気がするので、もっとたくさんの事例や情報の細かな発信が必要な気がする。

SDGsについて抱いている感想は、すごく大きな目標のようで、実は日常の小さなことの積み重ねで成り立っていたり、なんだか常にぼんやりした印象を持っています。

SDGsという言葉が何か難しく感じて、言葉は耳にするけど何か分かりにくい。もっと身近に感じられたら良いと思う。

SDGsはわかりにくい項目もあると思います。広報やLINEなどや、いろいろなイベントやアンフォーレの2階のコーナーを利用して、みなさんに広めていくことが大切だと思います。

あまり情報がないので広報だけでなく町内回覧板など身近にわかりやすい物であるとよい必要性を示して事例を紹介するポスターを各所に貼る。

安城市回覧板のフォルダーには、ケンサチ、感染症対策などタイムリーな情報が表紙を飾っている。もし、安城市がSDGsに市をあげて取り組むならば、この表紙を変更してはどうか。

安城市のというわけではないですが、例えばソーラーパネルはSDGsのように見えて使わなくなったソーラーパネルがゴミになって問題になるなど、良い面だけでなく隠された面もあることを紹介するべきだと思います。  
今の世の中、良い情報だけを表に出していることが多く、自分で調べないと正しい情報が得られないです。

誰でも住み良い街にするために外国人でも差別がないようにしたい

この夏の酷暑も含め、ここ数年異常気象とも言える自然現象が慢性化している。積極的にSDGsを進め、これ以上の環境破壊は止めてほしいです。

環境保護について、タバコのポイ捨てやゴミのポイ捨てがほぼ毎日のように自宅周囲である。東京のように、ポイ捨てした時は罰金を設けるなどの措置を取れば、少しは減るのではないかと思う。

買い物のビニール袋をやめて、本当に何か効果あったのか、誰も何も言わないから教えて欲しい。紙のストローも味が変わってしまっていて、口当たりも良くない、そこを犠牲にしてどれだけ効果が出るのか。良いことをやろう、だけでなく実績と反省、発展をみたい。

どんな効果があるのか定量的なデータを見てみたいと思う。定性的な話はいくらでも聞けるが、効果を数値で示したものを各目標項目ごとに知りたい。

言葉は聞いたことがあり知っていましたが詳しい事は分かりません。もっと知ってもらうために広報や安城市近隣の市と一緒に取り組んで欲しいと思います。  
小中学校や高校でも子供達に教えて頂けると将来のためにもなると思います。子供達に興味を持って欲しいと思います。

言葉が先行しているように感じる。言葉よりも何をしなければならぬか、そちらに重点をあてて活動してほしい。たとえば、今年のテーマは、リサイクル！といったようにである。もちろん進みは遅いがうわべだけより、一つずつ着実に浸透させてもらえれば、自ずと自ら考えるようになり、結果として早く広めることができるのではないか。

SDGsはよく聞かれるようになりました 持続可能な開発目標が広すぎて分かりづらいです。身の回りのことでは、多少は意識しながら行動しているつもりですが、、  
具体例の説明や紹介でなく、そのきっかけ作りとしての実際に実践する分科会があったら良いかもしれない。きっかけ作りであるので対象テーマを幾らか絞って、それに参加者を募るのはどうでしょうか？きっかけづくりなので数回の行事が良い。

アンフォーレなど行きやすい場所での開催はいいですが、顔見知りなどの集まりな印象を受けると初心者参加しづらいです。

SDGs推進は本質をいかに理解できるか、それを取り入れる余裕があるか、に尽きると思います。どんな施策もイベントも、結局賛同参加するのは一定層の、決まった人で、プライベートでできることって限られている。新たな層を取り込むには、相当案をこらさないと難しいでしょう。

SDGsという、英語の略称は、とくに高齢者にとっては、何のことかわかりません。まずは、SDGsという言葉ではなく、もっと安城市民に根差した全世代でわかるような日本語のキャッチコピーのもとで、地道に、焦らず、成果主義に陥らず、プロセスを大事にした活動を推進するべきだと思います。本来のSDGsは、期限が設定されていますが、SDGsに根差した“活動”には、期限を設けることはしないほうが良いかと思っています。

学生は、学校で学び、社会人は、社会で学び、SNS等使用する方は、SNSから学べます。  
最近感じている事は、高齢者の意識が低い様な感じがします。高齢者への意識も町内単位で向上出来たら良いのに、と思います。

SDGsは全ての活動と関連性があると思うのですが…。  
持続可能というのは、とても大切な考え方だとは思いますが。  
ですが、同名目で利益目線になってしまっている気がすると、少し悲しくなります。  
SDGsだからいいという一辺倒な考え方は違うのかなと。  
真に必要な事をしてもらいたいと考えています。

エコバッグは持ち歩くが、その他にできることは何か分からないから、知ればやるかもしれないと思う

ブームだからではなく、継続した活動として、市の施策を市民に理解できるように、広めて欲しい。

マスコミ等での言葉ばかりが先行している感もあるので身近（個人、家族レベル）では、なにが対応しやすく効果があるのかをアナウンスして頂きたい。  
基本的には、企業レベルでの対応が影響力が高いと思いますので市内の事業所へもアナウンスをお願いします。

SDGsは知っているが興味を持ってないのが本音。  
ビジネスの側面が強く、無駄なことをやっている印象がある。

積極的な感心は、今は感じません。

毎週木曜日のプラゴミの日に、黄色い袋がいっぱいになっているのを見る度に、SDGsは、掛け声ばかりで、進んでいないと思わずには、いられない。  
納豆にしても、漬け物や食品などなどのパック詰は、もはや、紙や藁、もみ殻などでは無く、ほとんどプラスチック製の為だからです。日常に流通している物から見直して、脱プラスチックに取り組む為の切り替えが必須かと思えます。

近年台風、猛暑、戦争、原発などの現実社会とSDGsという理念が断絶しているのではないかと感じます。猛暑が続き、以前はしきりにいていた28度の温度設定をお願いしますなども聞かなくなりました。とにかくできることから、何でもSDGsは構いませんが、意識高い系の人たちが集まるだけのイベントでは何も変わらないと思います。

市の重要な施策ですから、現状で良いと考えます。ただし、市民生活が物価上昇などで苦しいなか、他の施策との優先順位は考慮して下さい。

SDGsというと環境問題ばかりが取り上げられている様に感じる。  
誰一人取り残さない安城市にするために、福祉をもっと充実させるべきだと思う。（市職員の教育も含めて）

安城市に限った事ではないですが、飲食を伴うイベントは使い捨て容器のゴミが大量に出るので、ゴミの削減から程遠い行動だと感じます。

SDGsについては、小中学校では様々な取り組みを行い、時には地域と連携して活動していて頼もしく思います。  
一方「安城市のSDGs推進施策やイベント」について思い浮かべることがなく、調べてみましたがよく分かりません。ゴミ減量？水源保守？健幸？特別な取り組みがあるのでしょうか？

安城市の取組み状況が分からない。重要な政策と考えているなら、広報などでもっと積極的に情報発信する事。その際に、個人にとってのメリット・デメリットを明確にし、市民への期待値を明確にすると良い。取組状況を指標化するのも一手と思う。指標の中に、市民アンケート結果を入れるのも良い。

食品ロスマッチングサービスに登録したが、なかなか利用したい情報はなくて1度も利用していません。もう少し興味のある内容になって欲しい。（お徳感）

市の助成制度を使って、生ゴミを乾燥させるタイプの生ごみ処理機を購入しようと思いました。フィルター交換などのランニングコストが案外高く、購入に至りませんでした。  
持続的な補助を考えていただけたら嬉しいです。

私は環境負荷の低減に繋がるものに特に興味があり、仕事やプライベートで意識するようになっています。その観点からすると、イベントは何かのイベントと抱き合わせが良いかと思えます。  
（七夕祭りにSDGsを取り込む等）

SDGsだけのイベントを行うと、発生する環境負荷に対し、どれだけの成果が得られるのか。少し疑問に思えます。

今年初めて安城七夕祭りにグループで七夕竹飾りの出展に参加しましたが、安城市で大きな金や人材を投資している七夕祭りに関して、余りSDGsを意識したお祭りとは思いませんでした。単に過去のお祭りの再現だったような気がします。

SDGsで何がしたいかを具体的に示してもらいたい。SDGsがしたいだけならやめた方が良い。

SDGsの言葉を使いたいだけのイベントが多く、本当に目的を持ってやっているのか疑問。

体裁を繕うだけのイベントならば税金の無駄なのでやめて欲しいです。

あまり市民は、気にして生活していないと思う。どちらかといえば、子育てとか、お金の心配したりとかで、SDGsを考え生活してる人は少数だと思います。